

No. 2949

2020-2021年度

会 長 橋爪 誠治
幹 事 井上 修平
R広報委員長 菅原 佳典



島 海碩 書

第2640地区

例会日 毎週木曜日 12:30
例会場 紀州有田商工会議所6F
〒649-0304
有田市箕島33-1
紀州有田商工会議所2F
有田ロータリークラブ
Tel (0737) 82-3128
Fax (0737) 82-1020
創 立 昭和34年6月15日
ホームページ <http://www.aridarc.jp>
e-mail office@aridarc.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



2020-2021年度クラブ方針

自制心と結束力を繋ぐ理解のハーモニー
「学ぶLearning・感じFeeling・動くMoving」



本日のプログラム

令和2年9月17日 第2950回

- ・会員卓話：上野山 栄作 君
「クラブ戦略計画の必要性」
- ・ソング：「四つのテスト」

次回のお知らせ

令和2年10月1日 第2951回

- ・会員卓話：松村 秀一 君
「未定」
- ・ソング：「君が代」「奉仕の理想」

前回の報告（第2949回例会）

開催日 令和2年9月10日(木)

点 鐘 (橋爪(誠)君)

ゲストの紹介 (川口親睦活動委員長)

ゲスト:任泰然君(米山奨学生)録画出演

米山奨学生



任泰然君から
メッセージ動画を
いただきました。

ニコニコ箱の報告 (上野山(栄)SAA)

橋爪(誠)君:脇村重徳会員、本日の卓話楽しみにしておりました。よろしくお願いいたします。従来通りに近づけて例会が行えることに喜びを感じ、本日を待っていました。皆様よろしくお願いいたします。

井上君:脇村さんの卓話楽しみです。

岩橋君:久しぶりの例会、そして脇村さんの卓話楽しみにしています。

橋爪(正)君:会長はじめ役員の方々、コロナで運営が大変ですね。ご苦労様です。

児島君:皆さんお久しぶりです。脇村さん卓話楽しみです。

脇村君:本日、卓話させていただきます。よろしくお願いいたします。

岩本君:中元先生、四つのテスト勉強になりました。
松村君:皆様、お久しぶりです。お元気そうで何よりです。脇村さん「職業奉仕」勉強させていただきます。
中元君:脇村重徳さん、本日の卓話よろしくお願ひいたします。
川口君:脇村さん、本日の卓話よろしくお願ひ致します。勉強させていただきます。
石垣(泰)君:脇村様、卓話楽しみにしています。
木本君:脇村重徳さん、本日の卓話宜しくお願ひします。
丸山君:久しぶりの例会です。皆様元気そうで良かったです。
児嶋君:皆さん、久しぶりの例会で楽しみです。脇村重徳君、卓話よろしくお願ひ致します。
福原君:脇村さん、卓話頑張ってください。
嶋田君:久しぶりに皆さんにお会いできて嬉しいです。脇村さん卓話よろしくお願ひ致します。
上野山(栄)君:皆様ご無沙汰です。脇村さん、卓話楽しみです。

出席報告 (木本例会運営委員)

本日の会員数29名
(出席規定免除会員9名)
出席会員数 名
(出席規定免除会員 名)

会長の時間 (橋爪(誠)会長)

「手続要覧・ロータリー章典 ⇒ 決議23-34」
まず最初に、今週末に襲来した台風10号で被害を受けた皆様へお見舞い申し上げます。

本日は、例会場出席、インターネット配信、DVD配布を実施し、有田ロータリークラブ感染症対策を考え、コロナ

禍での例会運営を改めて臨んでいきたいと考えております。対策案に携わって頂いた中村吉伸会員、理事会メンバーには感謝申し上げます。



それでは、会長時間でございます。

約25年前にMBAの授業で教授が流通経路(Distribution Channel)の変化をもたらすことができれば、今後の世界経済を席卷していくと言われていたことが、今思えば現在のAmazonがそれにあたるのでしょうか。また今年の新聞でびっくりしたニュースが、販売台数、生産台数、実績で圧倒的だと思われるTOYOTAを、アメリカ合衆国のシリコンバレーに拠点を置くテスラに株式の時価総額を追い越されたということです。また時の流れとともに業界は大きく動いていくのでしょうか？

時間が流れても、大切に、一個人として実践し、人生の糧にしながら精進していきたい、ロータリーの理念の文章をご紹介します。

手続要覧には「ロータリーの基本理念」として、ロータリー章典には社会奉仕の基本原則として「社会奉仕に関する1923年の声明」と記載されています。私が、有田ロータリークラブに入会した際によく、「決議23-34」という言葉を先輩ロータリアンから紹介して頂きました。文章は6条から構成されています。

- 1)ロータリー哲学
- 2)ロータリークラブの役割
- 3)RIの目的について
- 4)奉仕は実践行動であること
- 5)各ロータリークラブの権利について
- 6)社会奉仕活動の指針について

本日の卓話で出てくるシェルドンが大きく関わりがある、第1条を朗読させていただきます。

1)ロータリーは、基本的には、一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務およびこれに伴う他人のために奉仕したいという感情とのあいだに常に存在する矛盾を和らげようとするものである。この哲学は奉仕—「超我的奉仕」の哲学であり、これは、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」という実践的な倫理原則に基づくものである。

是非、特に入会まもない会員の皆様、手続要覧もしくはロータリー章典の決議23-34をご一読宜しくお願ひ申し上げ、本日の会長の時間とさせていただきます。

幹事報告 (井上幹事)

1.9月3日定例理事会がありました

- ①8月試算表 承認
- ②9.10月例会プログラム 承認
- ③前期IDM 10月の定例理事会で再度審議
- ④10月米山月間 米山記念奨学生による卓話 承認
- ⑤旧パソコン及び周辺機器の処分 承認 但しHDのみを保管する
- ⑥予算追加項目について(戦略計画委員会) 承認



⑦9月10日以降の例会について(通常開催するための基準の提案.配布済み) 基準内であれば対面式に加え、Web方式、DVD方式で例会を行う。対面式以外の会員へは弁当の配布を引き続き行う。

- 2.地区より 国際ロータリー日本事務局は9月末まで在宅勤務となります
- 3.例会変更は後方に掲示しています
- 4.例会場に入場する際はマスク着用、消毒と検温をお願いします

ロータリー友誌 (石垣(泰)R広報委員)

【横組】

P.8 『和田勇物語』が育む地域の明るい未来

(御坊RC岡本恒男)

郷土の誇れる人物にスポット和田勇氏は作家・高杉良氏の小説『祖国へ、熱き心をスペース東京にオリンピックを読んだ男』の主人公となった人物です。アメリカ・ロサンゼルスに暮らした日系2世ですが、御坊市が和田氏の父の出身地であり、幼少時の数年間を統治で過ごしました。その頃、この地域で行われていた地引き網漁でとれた魚は、役割分担をして働いた老若男女、子供たちにも分け隔てなく、平等に与えられたそうです。力あるものが弱者を助け、しかも平等に扱う。その経験がその後の彼の生き方の原点となっていたと言われていました。この物語を子供たちに読ませ読書感想文の募集を始めました。その子供たちの感想には『自分のためじゃなく、誰かのために』『誰かのために、知らない誰かの為に一生懸命になれるか』『私は広い心を持ち、誰かのために一生懸命になれる和田さんの生き方を見習いたい』。この地域に暮らす子供たちにとって大きな奉仕の心と行動力を持った私のような人物が、かつて同じ街にいたことが、これからの人生にいかにか自信と誇りを与えてくれることか。子供たちは感想文の中で『自分にできることからコツコツ努力を続けている大きな夢に向かって進もう』などそれぞれに自分の考えを表現してくれました。



P.43 日本ロータリー100周年を一緒に祝おうとして記念切手が9月18日に発行決定しました。

【縦組】

P.13 卓話の泉

竜巻から身を守ると言う卓話のヒントが書かれています。

P.16 友愛の広場時空を超えた写真

(出雲RC 海田孝雄)

出雲ロータリークラブと和歌山ロータリークラブのつながりの歴史を書かれています。

65年前からの和歌山JCとのお付き合い。

P.20 ロータリーアットワーク

特にコロナ時期における活動の記事をピックアップしました。

P.20 学生と地元飲食店を支援した(弘前RC)

P.22 2クラブ合同で放課後児童クラブを支(郡上八幡RC 郡上長良川RC)

子供たちに飲食店の料理を提供(大野RC)
 誌上例会を開催(熊本福祉RC)
 P.23 学校に除菌液を配布(姫路西RC)
 P.24 小さなクラブでできること(隠岐西郷RC)
 地域医療守るために(奈良RC)
 3密を避けて清掃例会(釧路南RC)
 等がコロナ禍に置いての各地ロータリークラブの活動で
 した。
 2020年6月末現在、第2640地区RC数67会員数1734名。

卓話



会員
 脇村 重徳 君

「今に生きるロータリーの職業奉仕」

19世紀から20世紀初頭、米国ではいかにして利潤を独占しようかと、貪欲な資本家が弱肉強食の競争に明け暮れていた。それが労働者の貧困、失業ひいては世界恐慌などの社会的矛盾を生む原因となった。ロータリーでも、「一人一業種」を逆手にとって物質的相互扶助の考え方が起こり、会員同士の互惠取引が積極的に行われた。しかし、全米で乱立した経済的互惠主義は世間の非難を浴び、会員内部からも批判の声が挙がった。

そのタイミングを見計らったかのように1908年、シカゴRCに入会したシェルドンは、当時、誰もが考えつかなかった経営学の理念をロータリーに提唱することになる。それは単なる倫理高揚運動ではなく、顧客の満足度を優先し、高い職業倫理を備えて事業を行う科学的かつ合理的な企業経営方法であった。

シェルドンは人間の本能をむき出しにした利己的な経営を厳しく批判し、自分の儲けを優先するのではなく、自分の職業を通じて社会に貢献するという意図で事業を営む、即ち、会社経営を経営学の実践だと捉えて、原理原則に基づいた経営をすべきだと考えた。

そして、①事業を営んでいる限り、価値ある奉仕を行う必要があること、②奉仕を行う能力を開発して、その能力を適用すること、③奉仕を行えば、正当な報酬が得られること、という単純明快な奉仕理念を提唱した。この新しい奉仕理念を採択したロータリーは、物質的相互扶助を捨てた代わりに時代を先取りした未来の経営学を学んだことで大きな転換点を迎え、華々しい発展を遂げることになる。

シェルドンが説く企業経営の原則は具体的には、①良い商品をお客に提供する、②お客に満足感を与える、③常連客を増やす、④正当な報酬を得る、⑤従業員や取引先との信頼関係を築く、⑥従業員を育てる、⑦商道徳や倫理観を養う、である。経済界の寵児・ケインズや経営の神様・ドラッカーらに先んじること30年、現在の企業経営にそのまま通じる経営理論を構築したシェルドンは、

何という思考力の持ち主だったのか。

設立当時、物質的相互扶助と親睦に明け暮れる社交クラブの一つに過ぎなかったロータリーが、シェルドンの経営学の導入で一変した。その中核となった「One (He) Profits Most Who Serves Best」は、危うく廃止されようとした危機もあったが、シェルドンがロータリーの基礎を確立した三賢の一人に名を連ねる中で、今なおロータリーの第2モットーとして燦然と輝き続けている。

この短い文章は、最も基本的で原理的な生命の法則を表し、奉仕の原則の本質が見事に結晶化されている。即ち、公衆に対する奉仕の方法を示しているのである。「人は物質的な利得が、相手に与えた奉仕に釣り合っているときのみ、人生の真の意味の価値において豊かになりうるのである」。

閉会・点鐘

(橋爪(誠)会長)

次週9月24日(木)は
休会です



日程	10月の例会プログラム
10/1(木)	会員卓話 松村 秀一 君
10/8(木)	会員卓話 児島 良宗 君
10/15(木)	前期IDM発表
10/22(木)	米山記念奨学生卓話
10/29(木)	休会